

台湾ドル相場

予想レンジ: USD/TWD 30.50 ~ 32.00
TWD/JPY 4.7 ~ 5.2

東アジア資金部台北室 ヤン チェンロン

■ 先月の為替相場

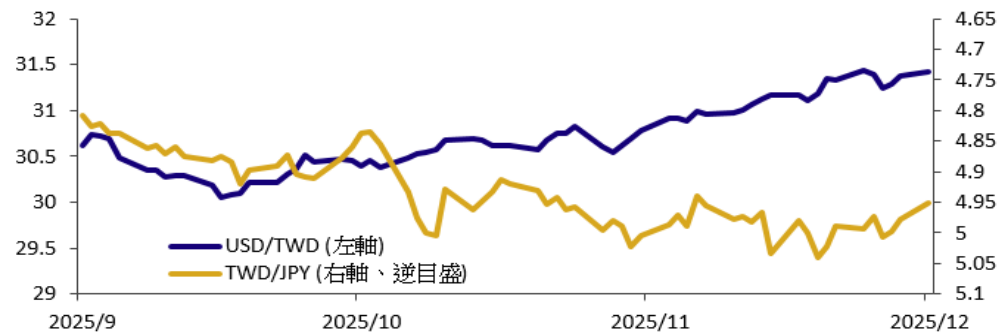
11月のドル/台湾ドルはドルがじり高の展開。

月初は30.760でオープン。海外市場でのドル高や外国人投資家による台湾株売り・資金流出が重なり、台湾ドル安が加速。輸出企業のドル売りで一時的に下落幅を縮小する場面もあったが、外資による資金流出圧力は強く、31元の大台を突破。

月央には、米財務省と台湾中銀が為替政策に関する共同声明を発表。為替介入の透明性向上などが盛り込まれ、市場では過去の台湾ドル急騰の記憶から一時的に台湾ドル買いが強まり、オフショア市場で台湾ドルが急上昇する場面が見られたが、台湾中銀は即座に「米国は台湾ドル高を要求していない」と声明を発表したことに加え、株式資金流出や、国有銀行・輸入業者のドル買い需要が下支えとなり、相場は声明発表前の水準へすぐに回復。結局は外国人投資家の継続的な資金流出やアジア通貨安という地合いが優勢となり、ドル/台湾ドルは31.150近辺までじりじりと水準を切り上げた。

月末にかけて、12月FOMCでの利下げ期待が後退したことを背景に国際的なドル高が継続。さらに、米雇用統計後の米株大幅安を受け、外国人投資家の売り越しが一段と拡大し、台湾株も急落。資金流出の加速を受けて台湾ドル売りが強まり、ドルは一時31.450まで急騰。最終的に、前月末比で大幅なドル高・台湾ドル安となる31.430でクローズした。

■ 為替の動き



■ 先月の注目イベント

発表日	イベント	期間	予想	結果	前回
11/3	製造業PMI指数	10月	-	47.7	46.8
11/6	CPI(前年比)	10月	1.40%	1.48%	1.25%
11/7	輸出(前年比)	10月	31.5%	49.7%	33.8%
11/20	輸出受注(前年比)	10月	28.0%	25.1%	30.5%
11/24	失業率	10月	3.35%	3.33%	3.35%
11/25	鉱工業生産(前年比)	10月	16.05%	14.50%	16.41%

■ 今月の見通し

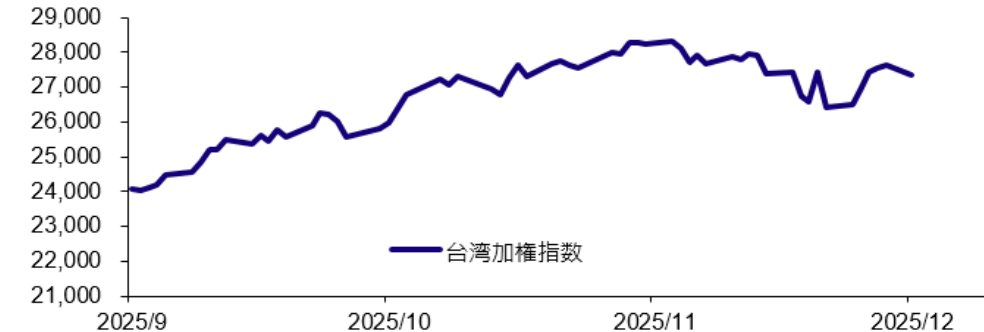
12月の台湾ドルは、短期的なドル高圧力と、根強い中長期的な台湾ドル高期待が交錯し、方向感の定まりにくい展開を予想。

短期的には、11月から続く外国人投資家の資金流出や、米国の金融政策への警戒感を背景とした国際的なドル高地合いが台湾ドルの上値を抑えるでしょう。世界的なリスクセンチメントが悪化すれば、ドル/台湾ドルは再び上値を試す可能性があります。

一方で、一方的な下落にはブレーキがかかりそうです。11月の米台共同声明を受け、台湾中銀は台湾ドル急落を抑制するためのドル売り介入を行うインセンティブが働きます。また、年末に向けて好調な輸出企業による実需のドル売り(台湾ドル買い)も、相場を下支えする要因となる見込み。

中長期的には、AIブームが牽引する記録的な経常黒字が台湾ドルの強力な支援材料であることに加え、将来の米利下げによる資金還流期待も根強く、ファンダメンタルズの強さが下値を支えるだろう。結果として、短期的なドル高圧力と構造的な強さが綱引きし、ドル/台湾ドルは31を中心に上下するレンジ相場となる可能性が高いと見る。

■ 株価指数の動き



■ 今月の注目イベント

発表日	イベント	期間	予想
12/1	製造業PMI	11月	-
12/5	CPI(前年比)	11月	-
12/9	輸出(前年比)	11月	-
12/18	台湾中銀金融政策決定会合		-
12/23	輸出受注(前年比)	11月	-
12/24	鉱工業生産(前年比)	11月	-